

# 郷土摂津 いにしえ通信

第91号



平成17年11月1日

発行

摂津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566 - 8555 摂津市三島一丁目1 - 1

(06)6383 - 1111 (072)638 - 0007

ホームページアドレス

<http://www.city.settsu.osaka.jp/>



## ふるさとの川「淀川」

～川は流れる悠久の歴史の中で～

人類が出現する以前の原始・古代・  
中近世から現代まで時代別に淀川  
と摂津市の関わりに迫ります。

第91回

**水辺の遊女** 平安時代、都への交通は陸上より水上の比重が大きく、九州・四国より瀬戸内海を経て淀川をさかのぼり京に至るまでには船泊（ふなどまり）に立ち寄りました。また、京の都より鳥羽の作道（つくりみち）を南下し、鳥羽津から加茂川を下るか、あるいは直接淀川沿いの淀津・山崎津から乗船して、淀川を下るとほぼ一日で船泊の江口に達します。江口は、平安初期に開削して淀川と連絡させた神崎川への分岐点で、瀬戸内海方面に向かう船の多くは神崎川を下ったので、舟運の要所となりました。さらに神崎川を下ると河口に近い右岸に神崎、左岸に蟹島の地があります。

「天下第一の楽地」（『遊女記』）と呼ばれた江口・神崎の遊女の有様は、平安初期以来の貴族たちの日記・詩文・和歌に多く記載されています。「遊女（あそびめ）の好むもの、雑芸・鼓・小端舟（こはしぶね）・笠翳（おおがさかざし）・艫取女（ともとりめ）・男の愛祈る百太夫」（『梁塵秘抄』）と謡われ、『法然上人絵伝』に描かれているように、旅船が泊に着くと、遊女たちは小端舟に乗って漕ぎ寄せ、川波の音に響かせて鼓を打ち、今様・朗詠を謡い、船客から衣服・絹・米などの纏頭物（てんとうもつ）を求めました。長い垂髪に作眉（つくりまゆ）を施し、小桂（こうちぎ）を着し、緋の袴をつけた遊女の姿は、朝廷の女官や貴族の女性の姿と見間違ふほどで、侍女がかざした笠は、周りに薄絹の布や総角（あげまき）の房紐を垂れ、柄には螺鈿（らでん）・蒔絵が施された華麗なもので、夜間には篝（かがり）をたいて漕ぎ寄せました

夜には客船に乗り移り、あるいは小端舟を芦の中にとどめて枕席を共にすることもありましたが、岸边には多くの遊女宿があり、そこでは客を迎えて鼓のほかに、琴・琵琶・笛などの楽器が奏され、今様・朗詠が謡われ、飲食が供され、一夜の歓が尽くされました。各宿は長者と呼ばれる女性によって管理され、女性を交えた貴族の一行が宿泊できる旅宿としての性格のものでした。（裏面へつづく）



### 室津の遊女

波静かな室泊の海面に、法然上人を四国へ送る流人船が着いた様子を描いています。水辺の遊女の活動を最も克明に描いた美しい場面です。室津はその名のごとく、奥深い入江と島に囲まれた良港であるとともに、そこに住む遊女は江口・神崎とならんで、古くから著名でした。

『法然上人絵伝』（模写）  
徳治2年(1307)頃の成立。  
全長 531メートル余、現存最  
長の絵巻。

遊女たちは貴族らが社寺への参詣、受領の任地への往復をする場合など、小端舟を操って、上流まで出迎え、客船とともに流れ下り、帰路には山崎まで見送る場合も多くありました。さらに、摂津市でも鳥養院などで貴族の宴会に招かれた場合も、小端舟を漕いで参上したようで、江口・神崎を本拠として、淀川の流域を遊女たちは自由に往来しました。まさに遊女の名のごとく、一か所に居をとどめない遍歴の存在でもありました。しかし、江口の繁昌も南北朝時代にはすっかりなくなってしまいました。わずかに昔を偲ばせるものに、「江口の君堂」呼ばれる普賢院寂光寺という日蓮宗の尼寺があります。

参考資料「週刊朝日百科日本の歴史」、「向陽書房淀川往来」



普賢院寂光寺

お知らせ

## ふるさと摂津案内人 養成講座



学び・伝えていきませんか？  
郷土の歴史を。

とき	ところ	内容
平成 17 年 12 月 14 日 (水)	市役所 新館 6 階	オリエンテーリング 味生地区歴史概説
平成 18 年 1 月 11 日 (水)	602 会議室	一津屋集会所と近代和風建築 井路のある風景と暮らし
2 月 15 日 (水)		誓源寺と恵照印殿釈寿栄大童女の墓碑 神崎川と鯉生野の開削
3 月 15 日 (水)	味生地区	味生地区の歴史散策 モノレール南摂津駅→井路→誓源寺 →一津屋集会所→道標→神崎川旧堤防

◎時間はいずれも 2 時～4 時。ただし 3 月 15 日は 1 時～4 時。

講師：ふるさと摂津案内人  
生涯学習課職員

定員：20 名

対象：歴史に関心のある方  
で原則全回参加でき  
る方

申し込みは 12 月 1 日 (木) から定  
員になり次第締め切り

※電話可 06-6383-1111  
072-638-0007  
内線 3212・3213

摂津市教育委員会  
生涯学習課生涯学習推進係まで

### ふるさと摂津案内人

平成 14～16 年度修了生のうち現在 17 名が登録されて文化財講座の  
講師やボランティアガイド活動を行っています。

参加費無料

## ふるさと摂津講座 11月開催

摂津市とゆかりのあるテーマを選択し、古代からちょっと昔まで、摂津市の歴史を楽しく学習する講座です。講師はいずれもふるさと摂津案内人が務めます。

受講に際しては、申込みは必要ありません。  
直接会場へご来場ください。

日時 平成 17 年 11 月 16 日 (水) 午後 2 時～4 時

会場 摂津市総合福祉会館第 1 会議室

内容 ①淀川改修 講師：奥田進氏  
②蕪村と淀川 講師：古谷邦雄氏

定員 60 名 入場無料